

特別陳列

# 末永雅雄

## —末永考古学の軌跡—

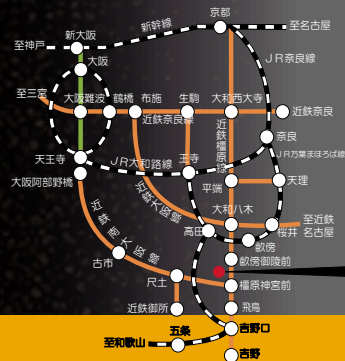
- 主催／奈良県立橿原考古学研究所 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館  
財団法人由良大和古代文化研究協会
- 後援／朝日新聞社、毎日新聞社、NHK奈良放送局



### 2012年2月4日(土)～3月25日(日)

#### 奈良 橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE  
●〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 50-2 ●Tel 0744-24-1185 ●Fax 0744-24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>



中国陝西歴史博物館「日本考古展」帰国記念 2012年2月4日(土)～3月20日(火・祝日)  
 特別企画展「やまとの地宝 一遺物が語る奈良の歴史—」 会場 奈良県立美術館

●近鉄橿原線 歌傍御陵前駅下車 西へ徒歩5分  
 ●近鉄南大阪線 橿原神宮前駅下車 北へ徒歩15分

# 末永雅雄

—末永考古学の軌跡—

■主催／奈良県立橿原考古学研究所 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 財団法人由良大和古代文化研究協会  
■後援／朝日新聞社、毎日新聞社、NHK奈良放送局



考古学における大きな功績により、考古学者として初の文化勲章受章者となった末永雅雄 橿原考古学研究所初代所長が亡くなって20年がたちました。

末永雅雄が調査研究においてみせた斬新な視点、試みた手法の中には、時代が移り、研究が飛躍的に進歩を遂げた今日においても、なお輝きを増しているものが数多くあります。

末永自身が手がけた発掘調査、新たに開拓した研究分野について多角的に検討し、「末永考古学」の積極的な評価をおこなうのが今回の展示です。



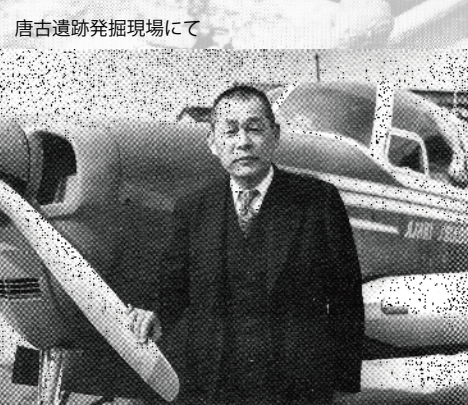
宮滝遺跡出土遺物を前に



文化勲章を胸に



末永雅雄復原 古墳時代甲冑



朝日新聞社「そよかぜ号」と



石舞台古墳石室内実測のようす

## 休館日

月曜日

## 開館時間

午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

## 入館料

大人 400円 (350円)  
高・大学生 300円 (250円)  
小・中学生 200円 (150円)  
※( )内は20名以上の団体料金

- 県内小学生未満、土曜日の小・中・高・特別支援学校生は無料。
- 65歳以上、外国人観光客および付き添いのボランティアガイド、障害者(児)およびその介護者。(それぞれ証明するものをご提示下さい。)

## 関連行事

会場：橿原考古学研究所講堂  
(聴講無料・申込み不要)

### ■ 2月12日(日)

研究講座 第1回  
午後1時～

- 松田真一氏  
(天理大学附属天理参考館特別顧問)  
「考古学調査の視角  
—末永雅雄による奈良県の縄文遺跡調査—」
- 藤田三郎氏  
(田原本町教育委員会文化財保存課主幹)  
「末永雅雄と唐古遺跡の調査」
- 前園実知雄氏  
(奈良芸術短期大学教授)  
「末永雅雄の『考古学の窓』  
—宮滝遺跡から高松塚古墳—」

### ■ 3月18日(日)

座談会「記者からみた末永雅雄」  
午前10時30分～

- 出席者：青山茂氏  
(帝塚山短期大学名誉教授、元毎日新聞大阪本社編集局部長)
- 岡本健一氏  
(毎日新聞社客員編集委員)
- 高橋徹氏  
(フロンティアエイジ編集委員、元朝日新聞編集委員)
- 牟田口章人氏  
(朝日放送報道局プロデューサー)

司会：菅谷文則  
(奈良県立橿原考古学研究所所長)

研究講座 第2回  
午後1時30分～

- 田中晋作氏  
(池田市歴史民俗資料館館長)  
「武器研究と末永雅雄」
- 河内國平氏  
(刀匠)  
「日本刀と末永雅雄」
- 菅谷文則  
(奈良県立橿原考古学研究所所長)  
「歴史考古学と末永雅雄」

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館

●昭和8年撮影「石舞台古墳発掘16mmフィルム」(京都大学総合博物館管理)を随時上映。

次回展覧会のお知らせ

春季特別展  
「三国志の時代 —魏・呉・蜀がやってきた—」

2012年4月21日(土)～6月17日(日)